

かすがい



「秋の一時」～野本敏春～

	～目	次～	
■第60回通常総会	…2～3P	■支部活動	
「会員増を重点に」		木材利用推進セミナー開催	…5P
健全な発展と技術の向上を目指す		商品説明会・納涼会開催	…6～7P
■栄村大震災発生	…4P	■支部活動・今後の予定	…8P
復興支援活動～インフラに甚大な被害及ぼす～		■編集後記	…8P

発行

社団法人長野県建築士事務所協会 長野支部
 長野市緑町1605-14 ダイヤモンドビル9F
 TEL/267-5055・267-5066 FAX/225-9088

編集 情報委員会

第60回通常総会を開催

「会員増を重点に」健全な発展と技術の向上を目指す

当支部は4月28日、長野市のメルパルク長野で第60回の通常総会を開催しました。議事では22年度の事業や決算報告、23度の事業計画と収支予算などを審議、承認しました。



挨拶する酒井支部長

～高齢化、後継者不足で会員減～

総会に先立ち酒井支部長は、支部の現状を報告。「昨年と比べ会員事務所数が80社から77社に減少した。会員の減少は事業活動に大きく影響する」と述べた上で、「会員増が今年目標」と挨拶。会員にも協力を呼び掛け、新年度の決意を新たにしました。



栄村大震災

～地震の復興に尽力～

3月12日に発生した長野県栄村を震源とする地震に際しては、当支部からも2人の会員が応急危険度判定士として派遣されました。

酒井支部長は、東日本大震災や栄村大震災について、「今までに経験したことの無い大地震や大津波が発生し、被害に遭われた方にお見舞いを申し上げる」と述べ、「支部としても応急危険度判定、罹災証明の発行など災害の復興に協力でき、会員の皆さまに感謝する」と謝辞を表しました。また、福島県の第一原子力発電所の事故については「早急の復興を望む」と述べました。



第60回通常総会

3月11、12日に発生した東日本大震災と栄村大震災において、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

建築士事務所協会長野支部

正会員・賛助会員一同

来賓では、長野市長代理の高橋伸治建築指導課長、長野地方事務所の小林健吾建築課長、高橋宏県議会議員が祝辞に立ち挨拶されました。

高橋建築指導課長は、「大震災の影響により、市民の耐震化に対する関心が高まっている」と述べ、「市では建築物の耐震化を進めており、木造住宅の無料耐震診断の実施などを考えているので、皆さまの協力をお願いしたい」と呼び掛けました。

議事終了後には功労者表彰が行われ、小林公一氏（エーシーエ設計）、宮下信夫氏（エーアンドユー設計事務所）の2人に酒井支部長から感謝状と記念品が贈呈されました。



代表して感謝状を受け取る小林公一氏

総会終了後は、懇親会が開催され、和やかなムードの中で会員相互の親睦を深めることができました。



親睦を図った懇親会

■名簿変更のお知らせ■

～所在地変更～

◎スペースプロ

【新所在地】〒381-0043 長野市吉田4-24-12

TEL：225-9844

FAX：225-9855

◎ヨシダ宣伝(株) 長野営業所

【新所在地】〒381-2241

長野市青木島町青木島乙516-1

TEL：214-7102

FAX：214-7103

～社名変更～

(株)INAXサンウエーブマーケティング信越第1支社

【新社名】(株)LIXIL北関東支社 長野支店



私たちは、人と環境を原点に
無限の空間を提案していきます。

内装工事
外装防水工事
設計・施工

高品質施工

遮熱用
フィルム施工
節電対策に威力発揮

デコレイトアイ
(3M販売特店)

ビルメンテナンス
事業部

環境をより美しく快適に

職業訓練法人
岩野建設専門
技能訓練学園

人材の育成

株式会社岩野商会

長野市大字北長池2051 TEL.026-263-7000(代)

松本支店・新潟支店・東京支店・北陸支店・佐久支店・長野北営業所
名古屋営業所・上田出張所・製作センター・デコレイトアイ(3M販売特約店)

イベント企画・備品レンタル・サインプランニングから施工管理

会場設備株式会社

長野市大字北長池2051 TEL.026-263-6811

職業訓練法人 岩野建設専門技能訓練学園

長野市大字北長池2051 TEL.026-263-7113

栄村大震災発生 復興支援活動

～インフラに甚大な被害及ぼす～

3月11日東日本大震災が発生し、翌3月12日早朝、長野県と新潟県の県境を震源とする栄村大震災が発生。震源の深さは約8.0^{km}、地震の規模を示す（マグニチュード）は6.7最大震度は6強を記録しました。また、本震発生から1時間あまりのうちに、同じ震源域内で震度6弱の地震が2度繰り返され、住宅33棟が全壊したほか、飯山線の崩落や多くの地区で断水、約400世帯で停電したほか、道路は寸断され一時孤立する集落もあり、村民約2300人のうち2000人に避難指示が呼びかけられ、約1700人が避難する深刻な被害を及ぼしました。



1階部分が崩壊した住宅

村は、5月中旬に本格的な被害調査にはいり、幸い死者はでませんでした。水田のひび割れや畔の崩壊による耕作不能は23ヘクタールに上りました。

東日本大震災と重なり、陰に隠れてしまっていますが、現在は農地や水路では応急ではあるが通行や通水が可能になり、国道117号の大型車も通行止めになっていましたが、通行が可能になりました。また、仮設住宅も建てられ入居が始まり、少しずつではありますが復興に向けて進んでいます。



応急危険度判定実施 ～当支部からも2人派遣～

3月14日と15日、当支部からも応急危険度判定士として2人を栄村に派遣し、建物の調査にあたりました。このほかにも、罹災証明書の発行など当支部からも多くの方が復興支援を行いました。



応急危険度判定の説明を聞く住民

～これからの課題～

今後の課題は、住宅再建が挙げられ、家が全半壊した高齢者も少なくありません。県は村と連携して村営住宅の建設に向け積極的に取り組む姿勢を示しています。私たちも建築士として、技術的な面からのサポートを行っていくことが必要だと思います。

支部活動①

木材利用推進セミナー開催 ～木材利用を学ぶ～

長野県建設業協会長野支部建築委員会（野村文孝委員長）と当支部は7月13日、メルパルク長野で「公共建築物等における木材利用促進セミナー」を合同開催しました。当日は会員ら50人余が参加して、木材利用について学びました。

国が平成22年10月に「公共建築物木材利用促進法（略称）」を施行したことを受け、法律の背景や県の方針、木材利用の取り組み事例などが発表されました。

講義に先立ち、酒井支部長は「地域の仕事や材料を地域でできるようにと講習会を計画した。今日のセミナーを参考にして、今後の仕事に役立ててほしい」と挨拶しました。

講義では、県林務部県産材利用推進室の向山繁幸係長が「長野県の公共建築物等における木材の利用方針」、県建設部建築指導課の中村均専門指導員が「公共建築物等における木材利用促進の課題」について、それぞれ解説しました。

向山係長は「森林の適正な管理のためにはお

金が必要」と前置きした上で「木を使用し林業の活性化を図り、公共建築物や一般建築物など木材需要の拡大を目指す」と述べ、また「木材を利用した校舎では、RC造と比べ子どもの健康にも良い」と説明しました。中村指導員は「県産材は高いが、いかに安くRC・S造並にできるかが課題。実施設計などで皆さんからコストダウンできる構造を提案してほしい」と呼び掛けました。



 **MOTO-Q**

<http://www.motoq.co.jp>

■ 取扱商品 ■

外壁工事 (ALC、アスロック、ラムダ、PC、GRC、アイジーヴァンドほか)

外断熱工事 (ハイバート、リックボード、ロクセルボードほか)

金属建具等 (アルミ木複合断熱サッシュ、YKK、LIXIL、住軽日軽)

シート防水、屋上乾式保護板

太陽工業製品 (構造用トラス、酸化チタン恒久膜、スカイライトソーラーほか)

体育施設 (ヤマハFRPプール、セノー体育器具、筒中プール改修ほか)

株式会社 **本久**

建築部: 〒381-8588 長野市桐原1-3-5 TEL: 026-241-1155

支部活動②

「省エネ・創エネ」をテーマに

商品説明会・納涼会を開催

当支部の賛助会（坂田守夫会長）による「商品説明会」が7月28日に長野市のメルパルク長野で開かれました。



商品説明会に先立ち、酒井支部長は「今回は省エネ創エネの商品が説明される。今後の営業活動に生かしてほしい」と挨拶しました。

矢木コーポレーション

両面受光型太陽電池『サンジュール』

説明会では、矢木コーポレーションが両面受光型太陽電池「サンジュール」について紹介。一般の太陽電池と比べ垂直に設置することが可能で、冬でも雪が積もらず、発電出力も増加すると説明。また、設置方向も問わず、場所を取らないことで土地の有効活用にもつながるなどの特長を説明しました。



長野三菱電機機器販売

標準型エレベーター『AXIEZ』
ビル管理システム『Facima』

長野三菱電機機器販売は、従来からバージョンアップしたエレベーター「AXIEZ」（アクシーズ）を発表。最大36%の省エネを実現したほか、待ち時間や乗車時間を短縮した「スーパー可変速システム」の説明や建築物と調和したさまざまなデザインも紹介。また、省エネを実現するビル管理システム「Facima」（ファシマ）の紹介もしました。



説明会終了後は、納涼会が開かれ会員相互の親睦を深めました。

商品説明会で紹介された各提案商品

両面受光型太陽電池『サンジュール』
矢木コーポレーション

両面受光型太陽電池の強み

垂直設置可能、設置方向を問いません

設置面積が少なく、土地の有効活用が可能

- ・従来の片面受光南面30度傾斜設置とほぼ同等の年間発電量が得られます。
- ・年間発電量は設置方向によらず、ほぼ一定。



- ・積雪、鳥糞、木葉などの付着が無くなります。
- ・水面、地上積雪からの反射光が発電を補助します。
- ・ビル屋上のフェンス、遮音壁などへの構造物一体型用途の可能性が広がります。



商品に関するお問い合わせは、矢木コーポレーション(株)TEL026 (283) 7000まで。

標準型エレベーター『AXIEZ』
ビル管理システム『Facima』
長野三菱電機機器販売

AXIEZ

Ecology 省エネルギー

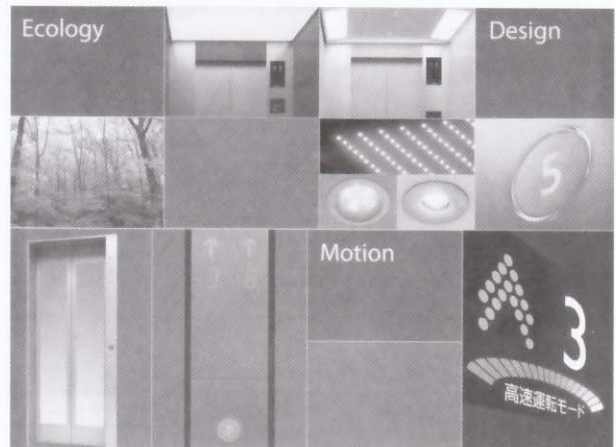
全照明をLED化など最大36%の省エネを実現。

Design デザイン

建築と調和する素材感と知性を感じさせる精度感。シンプルでありながら強い個性を発揮する。

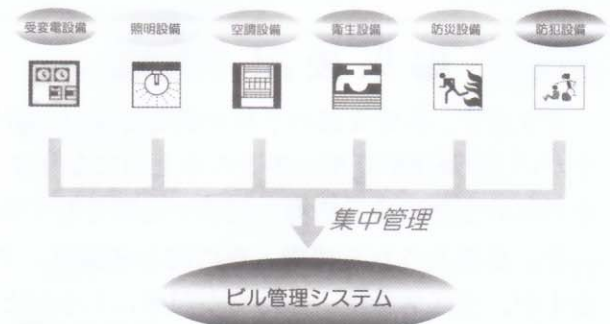
Motion スーパー可変速システム

乗車率に応じて最適な。待ち時間や乗車時間を短縮化。



Facima

メーカーも、導入時期も異なる空調や照明、受変電といったビル設備を一元的に運用し、機器メーカーの垣根を越えたビル設備のトータル管理を実現。



商品に関するお問い合わせは、長野三菱電機機器販売(株)TEL026 (228) 7113まで。

■支部活動

※は、支部主催のものではありません。

日 時	内 容	場 所	出 席 者
H23年3月18日	総務委員会	長野建築センター	委員 4名
3月29日	賛助委員会 (賛助会役員会)	長野建築センター	委員・役員 11名
3月25日	理事会	長野建築センター	理事 13名
4月15日	会計監査	長野建築センター	高橋監事、関監事、酒井支部長 関田会計理事、小林会計理事
4月28日	理事会	メルパルク長野	理事 18名
4月28日	通常総会	メルパルク長野	出席者 28名
6月15日	長野県木造住宅耐震診断 推進協議会	長野市若里市民文化 ホール	酒井支部長
6月17日	長野地域景観協議会	長野合同庁舎	酒井支部長
6月23日	理事会	長野建築センター	理事 15名
7月13日	木材利用促進セミナー	メルパルク長野	会員22名
7月13日	県建設業協会長野支部と の懇談会	メルパルク長野	理事 11名
7月28日	商品説明会及び納涼会	メルパルク長野	出席者 45名

■今後の予定

日 時	内 容	場 所	備 考
9月22日	理事会	長野建築センター	

■新会員のお知らせ

事務所名	開設者	管理建築士	所在地	連絡先
御所建築設計事務所	中村典昭	中村典昭	〒380-0943 長野市安茂里差出1858-1	T E L : 224-3169 F A X : 224-3218
鈴木設計事務所	鈴木達志	鈴木達志	〒380-0823 長野市南千歳1-3-7アイビススクエア6階	T E L : 227-7656 F A X : 227-7656
千村設備設計事務所	千村 俊	千村 俊	〒380-0803 長野市三輪2-4-32北沢ビル	T E L : 252-4871 F A X : 217-4671

編集後記

ますます、長野支部の予算が厳しくなり、情報委員会の事業費も大幅に削減され、今年度より「かすがい」の発刊が夏季・冬季の年2回になりました。「かすがい」は、最新情報は発信できませんが、その年の支部事業・活動の記事を記録として残しています。

今、必要とされる情報・専門的な知識は、グーグル等の検索サイトによりすぐに調べる事が出来ますが、支部活動は、私たちが記事にしないと記録として残りません。

今回「173号」を発行するにあたり、内容は毎年変わりませんが、継続し、一号一号積上げる事が大切だと考えています。